

令和5年度 多良見西語らん場

「どうぞ、ご自由に語り合きましょう!」との生活支援コーディネーターの一声から、今年度も多くの地域の皆さまの参加を得て、令和5年8月25日(金)、伊木カ多目的研修館にて開催いたしました。今年度より感染対策を継続しながらグループワークを再開し、住民同士の意見交換において盛り上がりを得ました!



地域に合わせた集い・見守りがあるのでは?小さな取り組みでもできることをやってみます!

語らん場での話を聞いて、自地域でも既存の集まりを活用して何かできそうと思いました!

他地域の協力的なところを聞いて、自分も努力(地域貢献)してみます!



地域での「見守り・集い・支えあい」について、「我が事」として考えると、また違った考え方・意見が出てくると思う。今の高齢者のためだけでなく、将来の自分たちのためにも考えていこう!

今回の「語らん場」でもたくさんの意見があがり、地域性による将来見込まれる社会資源(集い・見守り・移動・買い物など)の不足について、情報共有・意見交換が行われました。しかし、その地域性を活かし「自分たちができること」を続け、また少しずつでも始めていく必要性を確認し、同じ思いを持つことができました。引き続き、生活支援コーディネーターも「地域密着」で、たとえ小さくても大切な活動を支援してまいります!